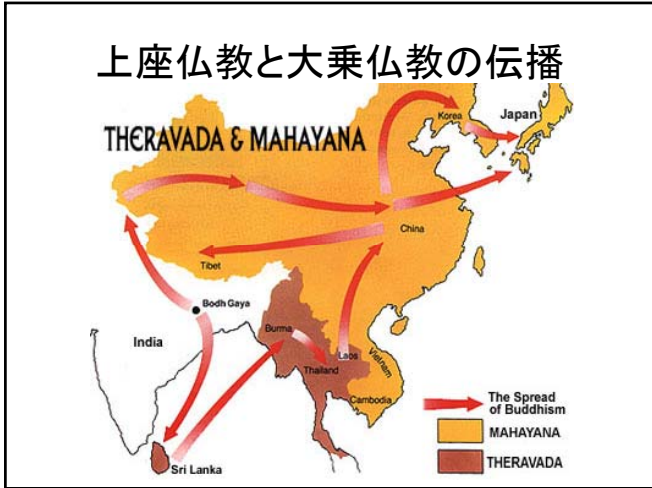
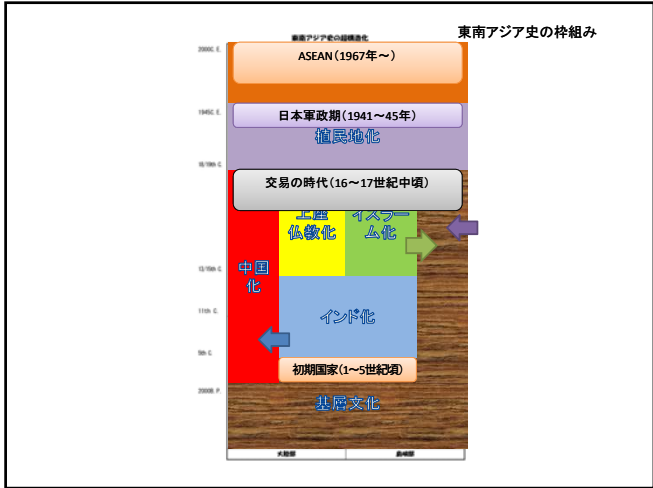


東南アジア古典文化論
2010年7月8日(木)4限

上座仏教の展開

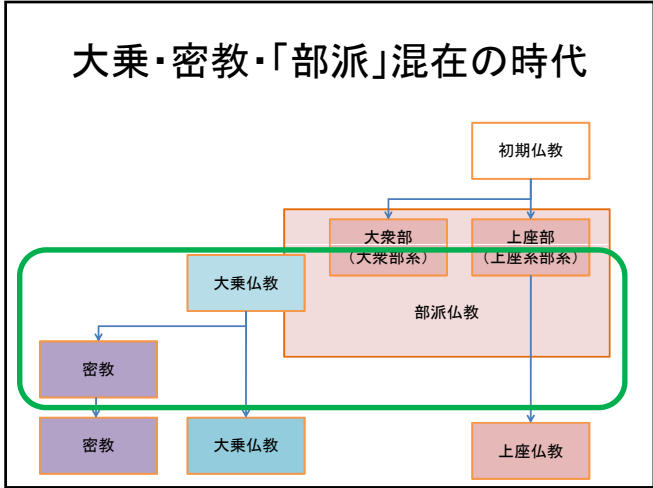
青山 亨
東京外国語大学



東南アジアの上座仏教諸国

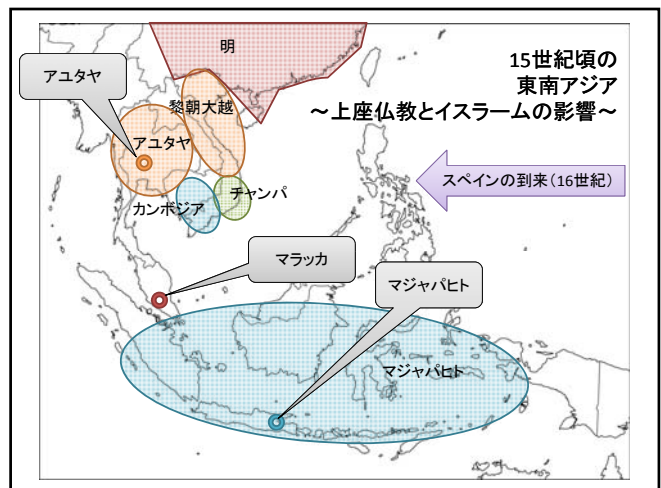
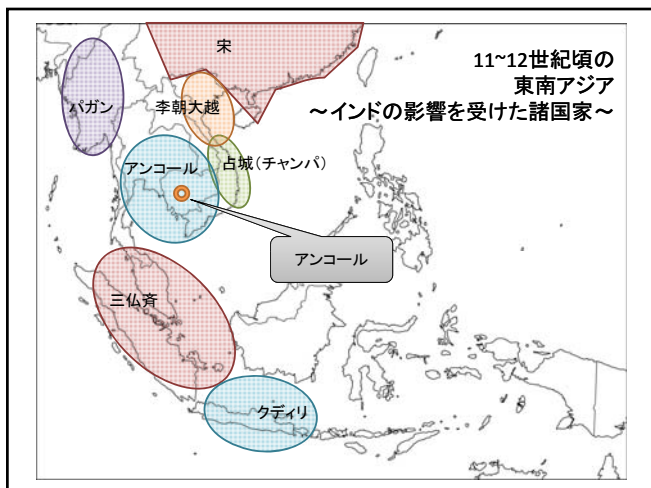
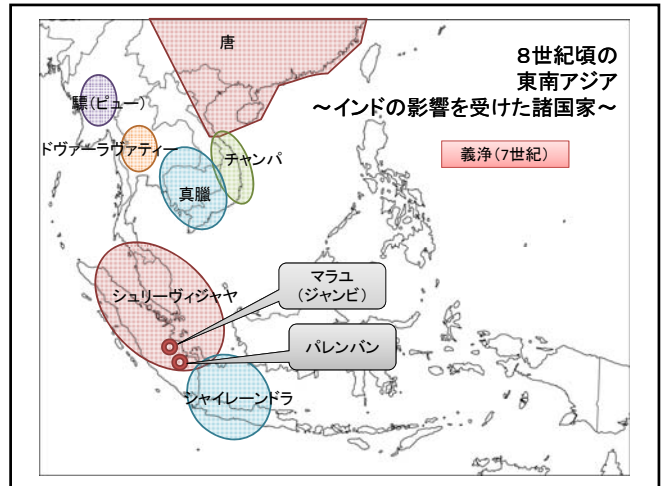
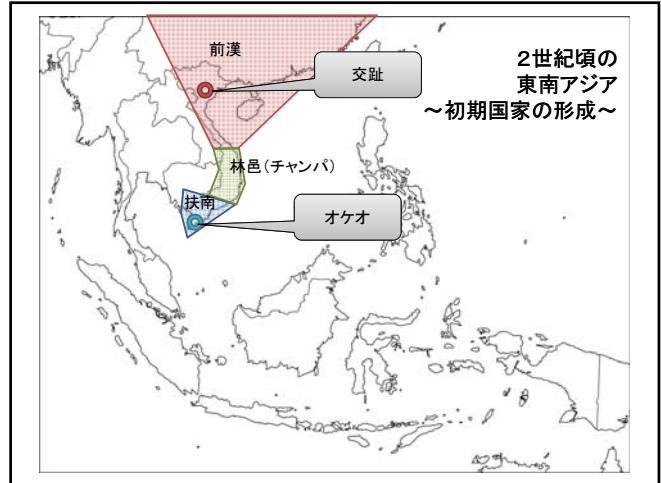
国	人口	割合	仏教徒数
タイ	65,905,410	94.6%	62,346,517
カンボジア	14,494,293	96.4%	13,972,498
ラオス	6,834,942	67%	4,579,411
合計			80,898,427

- ### 仏教の展開
- 初期仏教(前5世紀頃)
 - 仏陀とその弟子たちの時代
 - 根本分裂→部派仏教(仏滅100年後~400年後)
 - 上座部系11部、大衆部系9部
 - 上座部: 保守的、大衆部: 進歩的
 - 上座仏教
 - 上座部系仏教の延長
 - 大乘仏教(西暦紀元前後)
 - 部派仏教内部の思想運動として発生
 - 大乘的「菩薩」の出現
 - 新しい経典を制作(般若経、法華経、華嚴経など)



上座仏教の展開

- 大乘・密教・「部派」混在の時代
- 11世紀半ば
- ビルマのパガン王朝がモン族・スリランカから上座仏教を導入
- 13世紀半ば
- タイのアユタヤ王朝がビルマから上座仏教を導入
- スリランカと東南アジアの交流



参考文献

- 金岡秀友・柳川啓一監修『仏教文化事典』佼成出版社, 1989.
- 奈良康明ほか編『スリランカ・東南アジア「静と動の仏教」』(新アジア仏教史 第4巻) 佼成出版社, 2010(9月刊行予定).

ありがとうございました。

ver 2.0 2010-07-08